

R5年度〔1学期〕学校評価 自己評価書

達成度(評価基準) 1(50%未満) 2(50~79%) 3(80~100%)

1 学校の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供が「わかる・できる」と実感することができる授業の創造に取り組む。</li> <li>・学級の親和的な雰囲気の醸成に取り組み、日々の子供の状況を把握しながら、いじめの未然防止や早期発見を推進する。</li> <li>・たくましい心と身体の調和のとれた育成を目指し、全教育活動を通じた体力向上に取り組む。</li> <li>・外部人材の積極的な活用を図り、多様な人材を活用することで高い学習効果を得ることができる。</li> </ul>
--

2 課題と改善策

	評価項目	職員	改善方策
学力向上	1 確かな学力の定着(平均85%以上)	2.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補充指導の工夫改善を行い、単元テスト等の振り返りを確実に行う。学習の積み残しを極力防ぐ手立てを実施する。</li> <li>・自分の考えを表現する場と時間の設定を行い、自分の思いや考えを伝える表現力向上に努める。</li> <li>・児童の特性に応じた特別支援教育の充実に取り組み、達成感や成就感を感得させる。</li> <li>・保護者による学習支援ボランティアの一層の効果的活用を図る。</li> </ul>
	2 めあてとまとめの整合性及び構造的な板書	2.3	
	3「吉野東小学習スタンダード」の実践	2.4	
	4 個に応じた学習指導の工夫	2.3	
	5「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善	2.1	
	6 外部人材の積極的な活用	1.7	
生徒指導	1 あいさつの励行に取り組む指導	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートや観察等を通して、いじめや不登校の早期発見に努め、未然防止・早期解決のためにチームとして問題解決に当たる。</li> <li>・生徒指導に係る共通実践事項を全体で確認し、重点的に指導すべき事項については、一事徹底を心がける。</li> <li>・全ての保護者との教育相談を実施し、悩みや思いを共有する。また、家庭と連携した働きかけを推進する。</li> </ul>
	2 いじめや不登校の未然防止・早期対応	2.4	
	3 子供や保護者の心に届く生徒指導	2.4	
	4 子供の人権を尊重した指導	2.4	
	5 体罰や暴言がない適切な指導	2.6	
	6 保護者との円滑な連携	2.5	
保健・安全	1 保健指導の充実	2.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの結果分析から、学校の課題を明らかにする。その上で、望ましい体力づくりの方法について、考案・実践に取り組む。</li> <li>・健診結果をもとにした保護者への疾病治療の呼び掛けを実施する。特に、う歯治療率の向上を図る。</li> <li>・徹底した安全点検の実施による学校事故の防止、児童の安全確保に努める。</li> </ul>
	2 子供の疾病治療の推進	2.1	
	3 安心・安全を担保する安全指導や環境整備	2.5	
	4 適切な給食指導	2.5	
	5 子供の体力向上を目指す授業や活動の充実	1.9	

3 次学期に向けての取組

- (1) 学力向上に向けては研究授業の実施等を通して、個々の教師が PDCA サイクルに則った授業改善を実施できるようにする。また、本校の共通実践事項「吉野東のスタンダード」を活用した授業の創造を目指し、その確実な共通理解を図るようにする。
- (2) 主な課題の一つである「不登校・登校渋り」の改善に向けて、事象の確認から対応策の策定といった取組の強化を行い、課題克服に努めていく。